

令和5年12月4日（月）開催

第28回厚生政策セミナー／The 28th IPSS Annual Seminar

HOME

プログラム  
Program

参加申込  
Registration

お問い合わせ  
Enquiries

# 時間と少子化

## Time Use and Low Fertility

### 開催概要

日時：令和5年12月4日（月）13：30～17：00（予定）  
場所：日比谷国際ビル コンファレンススクエア  
視聴方法：ハイブリッド開催  
（会場での受講／オンライン（Zoom））  
定員：会場／80名（事前申し込み＜先着順＞）  
オンライン（事前申し込み）

参加費：無料

※日本語字幕、日英同時通訳あり

※託児サービスあり。[メール](#)で申込んでください。

→託児は先着5名まで（3か月～小学2年生）

→受付締切は11月24日（金）です。

→託児利用料は無料です。

[プログラムPDF版ダウンロードはこちら](#)

[Details in English](#)

### 開催趣旨

国立社会保障・人口問題研究所では、人口や社会保障、人々の暮らしに関わる諸課題を議論し、理解を深める場として、毎年ひとつのテーマを掲げて「厚生政策セミナー」を開催しています。令和5年度第28回厚生政策セミナーのテーマは「時間と少子化」としました。

日本の出生率が、長期的に人口規模を維持できる水準を下回り始めてから、まもなく50年になります。この間、様々な子育て支援策が実施されてきましたが、出生率の低迷は続いています。こうした少子化の要因については、子育てにかかる費用の高さや仕事と子育ての両立の難しさ、若い世代の価値観の変化などが指摘されていますが、より人口学的な観点から少子化を説明しますと、一般に高所得国の少子化は結婚や出生の先送りの帰結であると考えられています。こうした国では寿命が伸び、人生の時間は長くなりましたが、子どもを産める年齢には上限があるため、先送りの果てに出産の機会を逸してしまうケースが増加しています。

20代、30代の人々がスムーズに家族形成に移行できない背景として、例

### 講演・パネリスト

趣旨説明 **岩澤 美帆**  
国立社会保障・人口問題研究所  
人口動向研究部 部長

報告者  
パネリスト **Man-Yee Kan**  
**（マンイー・カン）**  
オックスフォード大学社会学部  
教授

**福田 節也**  
国立社会保障・人口問題研究所  
企画部 室長

**大石 亜希子**  
千葉大学大学院社会科学研究院  
教授

**濱口 桂一郎**  
独立行政法人労働政策・研修機構  
（JILPT）  
研究所長

**西岡 隆**  
こども家庭庁  
長官官房参事官

モデレータ  
— **林 玲子**  
国立社会保障・人口問題研究所  
副所長

### お問い合わせ

第28回 厚生政策セミナー事務局  
（国立社会保障・人口問題研究所内）

〒100-0011  
東京都千代田区内幸町2-2-3  
日比谷国際ビル 6F  
TEL：03-3595-2984  
FAX：03-3591-4816  
Mail：[ipss28seminar@ipss.go.jp](mailto:ipss28seminar@ipss.go.jp)

※平日 10：00～17：00（電話）